

ケイ酸質系浸透性塗布型
防水材

一液性
タイプ

TJアタック

エース T-100 防

コンクリート躯体の簡易防水に。

エースT-100に配合されたケイ酸質微粉末からケイ酸イオンが溶出し、コンクリート中の毛細管空隙中に浸透・充填し、コンクリート表面を緻密化し躯体自体に防水性能を向上します。刷毛塗り・コテ塗り・吹き付けでの施工が可能で、作業性も追求したケイ酸質浸透系塗布型防水材です。

特 長

◆ 優れた防水性

塗布するだけでコンクリート表面を緻密化し、防水性能が向上します。

◆ 優れた作業性・安定した品質

下地に水打ちを行い、刷毛塗り・コテ塗り（しごき塗り）・吹き付けでの施工が可能。安定した施工品質を確保できます。

◆ コスト削減

一般的な防水塗料に比べ、施工性も優れ、経済的な防水材です。

用 途

- ▶ 地下内外壁、地下ピット、エレベーターピット、地下湧水ピット、雨水槽、防火水槽、中水槽、受水槽、工業用水槽ボックスカルバートなどの防水に。

荷 姿



エース T-100
21kgセット/段ボール箱入り（粉体20kg+強化剤1kg）

材料使用量

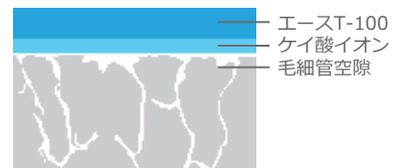
○エース T-100

1袋当たりの標準練り上がり量			
粉体(kg)	混和液(ℓ)	水(ℓ)	練り上がり量(ℓ)
20	1	4	約11.8
1セット当たりの使用量			
標準使用量 (㎡)		1.5~2.0kg	
1セット当たりの施工面積		11~14.5㎡	

エース T-100の防水メカニズム

エースT-100はコンクリート躯体に塗布することにより、製品に配合されたケイ酸質微粉末からケイ酸イオンが溶出し、コンクリートの毛細管空隙中に浸透・充填し緻密化させることにより、コンクリートの表面を防水層へと変化させます。従来の塗膜形成型と違い、工程も少なく経済的に防水層にすることが可能です。

- 1 塗布後、ハイドロエースに配合されたケイ酸質粉末からケイ酸イオンが溶出。



- 2 毛細血管に溶出したケイ酸イオンが浸透・充填。コンクリート内部の遊離石灰と反応し結晶体をつくり、コンクリートを緻密化し、コンクリート躯体表面を防水へと変えます。



施工写真



①躯体の十分水打ちを行います。
躯体の吸水が激しい場合は混和液を3倍希釈して塗布して下さい。



②コテまたは刷毛で施工していきます。



③施工後、再度散水養生を行います。
直射日光が当たる場合は、散水後、シート養生を行って下さい。

物性値・性能

○一般物性

項目		試験値	試験方法	
透水比		0.1以下	JIS A 1404(2.9Mpa)	
曲げ強さ (N/mm)	材齢28日	5.5	JIS A 5201 20℃水中養生	
圧縮強さ (N/mm)	材齢28日	45.5		
付着強さ (N/mm)	室内	材齢28日	2.25★	建研式接着試験器による ★印は母材破断を示す
	高湿度	材齢28日	2.51★	
	水中 (塗布後24時間後水中養生)	材齢28日	2.60	
耐ひび割れ性		異常なし	JIS A 6916	
耐衝撃性		異常なし	JIS A 6916	

使用方法

①下地処理および水打ち

下地コンクリートの表面は、モルタルの付着を妨げる脆弱部・ホコリ等を除去して下さい。
吸水防止の為、躯体を十分水打ちし、湿潤させて下さい。

②エースT-100の練り混ぜ

先に規定量範囲の水(4ℓ)と混和液をハンドミキサー等で練り混ぜ、その後徐々に粉体を投入し、均一になるまで練り混ぜて下さい。

③エースT-100塗布

施工箇所に刷毛、コテ塗り(しごき塗り)または吹き付けにより施工を行って下さい。
硬化後、散水養生を行って下さい。

●夏季及び直射日光の当たる場所での施工について

直射日光により下地が温度上昇している場合は、散水等により躯体温度を下げて下さい。また、施工後養生中は急激な乾燥によるドライアウトを防ぐためにシート養生等の処置を行って下さい。

使用上の注意

1. 粉体の取り扱いはセメントに準じて行って下さい。
2. 破袋製品や開封後放置した製品を使用しないで下さい。
3. 練り混ぜ水には水道水を使用して下さい。
4. 他材料を添加しないで下さい。

※取り扱いに関する詳細な注意事項は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

●本資料の技術データについて

- ・本資料の技術データは当社の試験・研究に基づいたもので、施工条件などにより異なる結果が生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がございますので、ご了承下さい。
- ・材料、施工でのご不明点がありましたら、当社営業担当へご相談下さい。

【総販売元】



<https://www.jikkou.co.jp/>

■本社 / 〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6号
TEL : 078-974-1141 FAX : 078-974-7786

■東京支店 / TEL : 03-6803-2287 FAX : 03-6803-2297 ■東北営業所 / TEL : 022-796-5312 FAX : 022-796-5313
 ■横浜営業所 / TEL : 045-307-4817 FAX : 045-307-4818 ■中部営業所 / TEL : 052-433-1350 FAX : 052-433-1351
 ■大阪営業所 / TEL : 06-6486-9797 FAX : 06-6486-9798 ■中国営業所 / TEL : 082-831-7505 FAX : 082-831-7506
 ■四国営業所 / TEL : 089-905-3833 FAX : 089-905-3834 ■九州営業所 / TEL : 092-512-2248 FAX : 092-541-6331
 ■技術研究所 / TEL : 078-920-1115 FAX : 078-920-1116

【製造元】



High-Quality & Trust
テクノスジャパン株式会社

※ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データをもとつくものではありますが、多岐にわたる条件下での実績の現場結果を確実に保証するものではありません。
※万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討くださいますようお願い致します。

R4.8

【代理店】

